

事業番号	10 03 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材振興対策事業		部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
			実施期間	H14～	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					





1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 本県の森林資源は着実に充実しているものの、日常的に木材を利用する機会が減少したこと等の理由により県産材利用が十分に進んでいないが、今後SDGs等への関心の高まりや、木質バイオマス発電所の増加等に伴い木材需要の増加が期待されることから、積極的なPRが必要である。
	【目指す姿】 県産材を活用した木造木質化・木製品設置の支援、県産材の付加価値向上・普及啓発等の取組を通じ県産材の利用促進を図る。また、各地域の実情に応じた県産材の有効活用の仕組みづくりを支援し、木材資源を活用した持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。
	【実施内容】 ・子どもの居場所の木質化や身近な場所・地域での木材利用 ・木材関係団体との連携による県産材のPRの取組に対する支援など

指標及びその達成状況						事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況			
1	素材(木材)生産量(千m ³)	541	540 ↘	564 ↗	628	未達成	事業コスト	前年度繰越	0	0
2	県内の製材品出荷量(千m ³)	116	96 ↘	96 →	131	未達成		現計予算	54,324	45,162
3	木質バイオマス生産量(千m ³)	59	55 ↘	75 ↗	120	未達成		合計(A)	54,324	45,162
4								うち一般財源	12,726	8,200
								決算額(B)	45,529	42,244
								職員数(人)	10.9	10.9

成果指標設定理由	1 県内の林業生産活動を把握するための指標 2 県内製材工場の製材・加工状況を把握するための指標 3 県内の木質バイオマスの利用状況を把握するための指標 目標値は、しあわせ信州創造創造プラン2.0の年度別目標値を記載
----------	---

達成状況の分析	・素材生産量と木質バイオマス生産量の指標は近年増加傾向で推移しているが、製材品出荷量は前年と同量であり、いずれの指標も目標値に対して未達成となった。 ・目標未達成の理由として、素材生産量とバイオマス生産量は、林業技術者の増加が目標を下回っていることに加え台風19号の影響により林道等素材搬出路が被災したことにより素材生産が滞ったこと。また、製材品出荷量は、信州F・POWERプロジェクトの販路拡大の遅れ等により前年並みとなったことが考えられる。
---------	---

主な取組	<p>✓ 非住宅分野(公共施設、商業施設)への県産材利用の推進 県産材製品の展示会への出展(2回) 県産材製品の品質確保のための認証工場検査の実施 公共施設発注者に対する普及啓発研修会の開催</p>	 県産材製品の品質検査	 展示会への出展
	<p>✓ 地消地産の木材利用の推進 「子どもの居場所」の木造木質化・調度品の設置(68箇所) 子どもを対象とした木工工作コンクールの開催(応募者4,307人) 箕輪町で県産材公共サインを設置 地域内で薪を循環利用するシステムを構築し、事業報告会を行い地域内外に広くPR(1箇所)</p>	 「子どもの居場所」の木質化	 木工工作コンクール

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	住宅着工戸数の減少に伴い製材品出荷量の減少が見込まれることから、商業施設等非住宅分野での県産材の利活用や普及啓発が必要 木質バイオマスは薪やペレットなどに加えて、バイオマス発電の稼働による大幅な需要の増加に応じることが必要	非住宅分野への県産材の利活用を促進するため、県内外への普及啓発と需要創出を図るとともに、木材使用に優位性のあるJAS製品の供給体制を整備する。 発電用木質バイオマスの需要に対する安定供給に向け、サプライチェーンセンターとの需給調整会議を実施する。また、地域振興局と連携して、松くい虫被害対策を推進することで、発生した被害材等を発電用原木としての有効活用を図る。

事業番号 10 03 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	県産材振興対策事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	-----------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	235 千円	246 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	制度推進会議運営費 制度普及啓発費	直接	長野県産材CO2固定量認証制度 認証件数：6件 CO2固定量：205t-CO2

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	地消地産による木の香る暮らしづくり事業	30,108 千円	28,843 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	「子どもの居場所」木質空間整備	補助金	木造・木質化9箇所 木の調度品・おもちゃ設置59箇所
2	木工体験活動	補助金	木工工作コンクール応募者数：4,307人
3	県産材公共サイン整備	補助金	県産材公共観光案内標識 1箇所

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	薪によるエネルギーの地消地産推進事業	3,664 千円	1,264 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	薪の地域内循環システムの構築に関する経費支援	補助金	松本市 四賀地区において薪ステーションを設置、資機材の購入、先進地調査、学習会・事業報告会の開催

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	信州の木ブランド強化促進対策事業	900 千円	900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	県産材の品質確保と普及啓発等に対する支援	補助金	信州木材製品認証工場を対象とした品質向上研修会の実施 信州木材製品認証工場検査 公共施設の発注者を対象とした普及啓発研修会の開催

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
5	信州の木と住まいの総合対策事業	1,700 千円	1,950 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	県産材の普及啓発支援	補助金	県産材利用推進木造セミナーの開催（年4回） 展示会の開催・出展（年2回） 信州型接着重ね梁の普及（出荷量：3.9m ³ ）

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
6	県産材活用加速化推進事業		2,398 千円	2,377 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	信州プレミアムカラマツ 製材品販路拡大	委託	県内の工務店・建築士等20者を対象に、県産材(大径材) 利用実態調査を実施 調査回答者から抽出した20者に対し、聞き取り調査を実施 県産大径材の住宅等への活用方法を検討	
2	森林認証材利用促進支援	補助金	東京オリンピック施設への森林認証材の供給支援 展示会等における森林認証材の普及啓発活動の支援	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
7	木質バイオマス循環利用普及促進事業		6,524 千円	6,664 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	個人向けペレットストーブ導入支援	補助金	ペレットストーブ83台導入 (30市町村支援)	
2	木質バイオマスの需要創出に向けた普及啓発	委託	木質バイオマス普及啓発パンフレットの作成 木質バイオマス普及イベントの開催	